

造影 CT 検査を受けられる患者様へ（注 意 書） 一食事制限あり

☆ 検査ができるかどうかの確認

以下に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に主治医にご相談ください。

- ① 妊娠あるいは妊娠の可能性のある方
- ② インスリンポンプ・持続グルコース測定器をつけておられる方
- ③ 脳・神経などの電気刺激装置（SCS）などを装着されている方。
- ④ ペースメーカー、除細動器をつけておられる方は、機種確認のため検査当日は、必ずペースメーカー手帳をお持ちください。

☆ 検査ができるかどうかの確認

- 検査前の一食（午前検査であれば朝食、午後検査であれば昼食）を抜いてください。
水分（水・お茶など）は検査前1時間まで自由におとりくださって結構ですが、水分制限のある方は主治医の指示に従ってください。絶食時には血糖降下剤は服用しないでください。
その他の内服薬の服用法については主治医の指示に従ってください。
 - ビグアナイド系糖尿病薬（下記に記載）を服用されている方は、
検査前2日+検査日+検査後の2日の合計5日間、休薬してください。
 - ・メトグルコ錠250mg・メトグルコ錠500mg
 - ・メトホルミン塩酸塩錠250mgMT・メトホルミン塩酸塩錠500mgMT
 - ・グリコラン錠250mg・メトホルミン塩酸塩錠250mg
 - ・メタクト配合錠LD・メタクト配合錠HD・メクメット配合錠LD・メクメット配合錠HD
 - ・イニシンク配合錠・ジベスト錠50mg・ジベトンS腸溶錠
 - ・メトアナ配合錠LD・メトアナ配合錠HD
- ※確認のため、検査当日には『お薬手帳』をお持ちください。

☆ 検査中

- 造影剤を注射すると、一時的に体が熱くなることがありますが、副作用ではないので心配ありません。
- 検査中は動かないようにしてください。

☆ 検査後

- 検査で使用した造影剤は、尿として排泄されますので、検査後はいつもより多めに水分をおとりください。ただし、食事制限や水分制限を受けている方は、主治医の指示に従ってください。
- 造影剤の一部は、乳汁中にも移行しますので、授乳中の方は48時間授乳を避けてください。
- 造影剤の副作用は、ほとんどが注入直後です。ただし、ごくまれに数時間から数日後に、遅発性の副作用（発疹・かゆみ等の皮膚症状が多いとされています）が現れることがあります。
このような場合は、主治医にご連絡ください。